

郷土を守る

防災・安心地域委員会を結成

町内会・自治会や各種団体は、市と連携した防災組織として、旧町村を単位とする7つの防災・安心地域委員会を立ち上げ、12月8日、秋川ふれあいセンターで設立式を行いました。新たに広域の防災組織が結成されたことで、災害に強いまちづくりが進み、地域コミュニケーションの活性化が期待されます。

地域と行政が連携した 災害に強いまちづくり

「防災・安心地域委員会」は、自主防災組織である町内会・自治会が主体となつて、7つの地域委員会（東秋留、多西、西秋留、増戸、五日市、戸倉、小宮）からなる組織として設立されました。この地域委員会には、町内会・自治会のほか、消防団、消防団OB、交通安全協会、防犯協会、民生・児童委員協議会、ふれあい福祉委員会、青少年健全育成地区委員会、PTAなど含まれ、各地域25人程度の委員で構成されています。

地震や火災などの災害が発生したとき、自分たちのまちは自分たちで守るといふ、地域の人が連携した救助活動を行うことで、迅速にお互いの安全・安心の体制を築いていきます。

協働から住民自治へ

7つ(旧町村)の 防災・安心地域委員会

町内会・自治会、消防団、消防団OB、交通安全協会、防犯協会、民生・児童委員協議会、ふれあい福祉委員会、青少年健全育成地区委員会、PTA

避難計画、防災マップなどの策定や、避難訓練の計画・推進

安心のまちづくりへの提言・推進

地域情報
行政課題

行政情報
ノウハウ

地域コミュニティ応援隊

市役所

各地域委員会では、今後の地域の避難計画をたて、地域の防災マップの作成や、防災訓練の計画実施などをしていきます。主な取り組み内容は、各地域委員会で計画・推進していくこととなりますが、おおむね次のとおりです。

- 避難計画
- 避難ルートの確立
- 市指定避難所の地域割り
- 市指定避難所の体制づくり
- 地域割りの決定と各団体の活動分野の明確化
- 災害対策本部と各避難所との連絡体制の確立
- 防災訓練の計画と実施

防災・安心地域委員会を取り組むことにより、大規模災害発生時には、各地域の特性に合った対応が可能になり、地域力が強化されます。



11月16日に行われた総合防災訓練で、地元の町内会が行った避難誘導訓練



消防団と消防署合同の一斉放水

施設などの調査と災害時の活動の想定
各避難所、一時避難場所
消火器、消火栓の確認
防災行政無線の難聴地区の確認
危険箇所の確認
地域防災マップの作成
要援護者の把握と情報の共有化
事業者、NPO法人などの協力体制の確立
地域資源の登用と活用
消防団員の確保への協力など

平成21年1月の市民相談(予約制)

市役所
不動産取引相談...9日
法律相談...13日・27日
交通事故相談...14日
登記相談...16日
税務相談...19日
相続・遺言など暮らしの事務相談...26日

五日市出張所
法律相談...8日
人権身の上相談...23日
行政相談...28日
時間 午後1時30分～4時30分
予約 法律相談は、相談日の7日前の午前8時30分から電話で受け付けます。その他の相談は、随時受け付けます。
予約・問合せ 市民課市民相談窓口係(直通558-1216)へ

平成21年1月の健康相談

期日・場所
5日 ...市役所
15日 ...五日市ファインプラザ
時間 午後1時30分～3時30分
内容 血圧・体脂肪率測定、保健師・栄養士による健康や栄養に関する各種相談
受付 当日、会場へ
問合せ 健康課健康づくり係(直通558-1183)へ

世帯と人口

平成20年12月1日現在
世帯 32,293世帯
人口 81,496人(前月比65人増)
男 40,796人
女 40,700人

市職員による 応援隊を設置

市では、防災・安心地域委員会の活動を側面から支援することを目的に、職員約50人がボランティアで構成

大規模災害発生時には情報収集を始め、いち早く行政機関との連携が必要で、各地域委員会は、被災者、要援護者の救助活動への協議や避難所運営への協議、被災状況などの情報発信を行い、被害を最小限に食い止める中心的な役割を果たします。

成する「地域コミュニティ応援隊」を設置しました。この組織では、地域の課題を解決するための市政情報や専門知識、ノウハウなどを提供し、意見などの集約も行う予定です。また、住民自治を見据え、地域情報や行政課題を把握して、市の関係部署に伝え、今後の行政運営に活用していく役割も持ちます。

市民と行政が力と知恵を出し合い、協働のまちづくりをめざしていきます。

問合せ 地域防災課 防災安全係